



指したいとの説明があった。

- レジ袋サイズのごみ袋の作成について質問があり、先進地では使用が少なく、思ったような効果が上がっていないとの話も聞いており、作成の予定はないが、高齢化など状況の変化もあり、平成22年度に検討したいとの説明があった。
- ヒブワクチン予防接種の経費積算について質問があり、1回の接種に7〜8千円の費用を要することから、その半額の助成を考えているとの説明があった。

農林水産業費

- 県の産直住宅建設支援事業と郡上市産材住宅建設等支援事業について質問があり、条件を満たせば両方の補助金を受けることが可能であるとの説明があった。

- 郡上南部農道の建設について質問があり、道整備交付金により平成21年度並みの事業量が確保できるとの説明があった。

商工費

- 市内共通商品券について質問があり、商工会では11月から発行することが決定しているとの説明があった。

- 観光課で実施しているふるさと雇用事業について質問があり、白山文化に係る誘客促進を目指して道の駅管理組合に委託する予定であるとの説明があった。

土木費

- 主要道路の工期の短縮について質問があり、長期に通行止めとなる路線もあるが、迂回路の有無などを考慮しているとの説明があった。

- 除雪機器整備に対する考え方について質問があり、現在は大半が建設業者の所有だが、業者が

減少していること、維持管理に費用がかかり業者が機器を手放していることから今後は市の除雪機を増やさなければならぬとの説明があった。

消防費

- 消防車両の更新について質問があり、購入後19年以上と基準を設けているが、それを満たさなければ更新をしないというわけではなく、車両の状況を見極めて対応したいとの説明があった。

- 消防団OBの方への協力要請について質問があり、支援団員への参加を依頼しており、11名の方に参加していただいているとの説明があった。

教育費

- 白鳥中学校と郡上北高校との中高一貫教育の制度設計について質問があり、県教育委員会が決定する事項であるが、市としては、簡便な入試のあり方等について話し合いを進めたいとの説明があった。

- 新公民館体制の今後について質問があり、公民館が窓口となって様々な活動を発信していくという新体制の目的に向けて新たな展開を設けていくとの説明があった。